

小学校国語①

【書くこと】話し言葉と書き言葉の違いに気付く

(大問1 学校の取り組みをオンラインで紹介し合う)

1 二 (1) オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する問題

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕知識及び技能(1)話し言葉の特徴や使い方に関する事項
イ 話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。

- ・【オンライン交流の様子の一部】を読んで、村木さんの発言④を受けて、和田さんが発言③の話し方を発言⑤のように変えた理由として適切なものを選択する。

正答率：68.8%
誤答率：30.9%
無答率：0.3%

【オンライン交流の様子の一部】

③

メールありがとうございました。図書委員会のことを知りたいということでしたので、まず、海風小学校の図書委員会の取り組みのしょうかいで、読書イベントが、月に1回、図書委員会で、クイズなどをして、私もそれに参加して、今まで読んだことがない分野の本を読みました。



④

せっかく教えてもらったのですが、だれが何をしているのかが分からなくなったので、もう一度教えてもらえませんか。

⑤

説明がよくなかったですね。話し方を変えますね。図書委員会が、月に1回、クイズなどの読書イベントをしてくれます。私もクイズに参加しました。今まで読んだことがない分野の本を読むことができました。



- 4 同じ音で異なる意味をもつ言葉を使わないほうがよいことに気づいたから。
- 3 よいことに気づいたから。
- 2 まちがった情報をすぐに直したほうがよいことに気づいたから。
- 1 言葉の順序に気を付けて短い文で話したほうがよいことに気づいたから。相手に応じて敬語を使ったほうがよいことに気づいたから。

(正答) 1 (誤答例) 4

〈誤答例の分析と課題〉

選択肢4と解答した児童は、誤解されやすい同音異義語を避けた方がよいと考えており、和田さんが、村木さんの発言を受け、言葉の順序に気を付けて短い文に区切った話し方に変えたことを捉えることができていないと考えられる。③の発言の中には同音異義語が含まれていないことを十分に確認せず、話し言葉の特質や自らの体験を踏まえて、回答を選択している児童がいると考えられる。

〈改善策〉

話し言葉には、聞き手や場面の影響を強く受けながら表現や理解が進められるという特質があります。学習指導に当たっては、複雑な構文を避けた表現になっているか、聞き手や場面の状況を踏まえた表現になっているか、などを意識しながら交流するように指導しましょう。実際の交流を記録した動画や音声を文字に起こした資料を活用し、話し言葉の表現を振り返る場面を設定することなども考えられます。また、音声言語だけでは聞き手が理解しにくかったり、誤解を招きそうだったりする場合などに、資料を提示しながら話すように指導することも効果的です。